

平成 27 年 12 月 25 日

開 議

第 13 回

酒田市教育委員会会議録

第13回 酒田市教育委員会 会議録

1 日 時 平成27年12月25日（金）午後2時00分 開会
午後2時40分 閉会

2 場 所 酒田市役所中町庁舎6階 61号会議室

3 出席者

出席	欠席	教 育 長	村 上 幸 太 郎
出席	欠席	委 員	浅 井 良
出席	欠席	委 員	齋 藤 義 明
出席	欠席	委 員	國 眼 眞 理 子
出席	欠席	委 員	岩 間 奏 子

4 説明者

出席	欠席	教 育 部 長	大 石 薫
出席	欠席	管 理 課 長	桐 澤 聡
出席	欠席	学区改編推進主幹	大 沼 康 浩
出席	欠席	学 校 教 育 課 長	今 野 誠
出席	欠席	学 校 教 育 課 指 導 主 幹	齋 藤 司
出席	欠席	社 会 教 育 課 長	清 野 誠
出席	欠席	図 書 館 長	阿 部 博

5 議事日程

- 日程第1 会期決定
- 日程第2 会議録署名委員の指名
- 日程第3 前回会議録の承認
- 日程第4 議事
- 日程第5 教育長の報告
- 日程第6 その他

◎ 開議

(村上教育長) ただいまより、平成27年第13回酒田市教育委員会を開会いたします。
本日は、全員出席でありますので直ちに会議を開きます。

◎ 会期決定

(村上教育長) 日程第1 会期の決定 を議題といたします。会期は、本日1日限りとし
たいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(各委員「異議なし」)

(村上教育長) ご異議なしと認めます。よって、会期は本日1日限りと決定いたしました。

◎ 会議録署名委員の指名

(村上教育長) 次に日程第2 会議録署名委員の指名 を議題といたします。本日の署名
委員に齋藤委員と岩間委員を指名したいと思いますが、ご異議ございませんか。

(各委員「異議なし」)

(村上教育長) ご異議なしと認めます。よって、会議録署名委員は齋藤委員と岩間委員に
決定いたしました。

◎ 前回会議録の報告

(村上教育長) 次に日程第3 前回会議録の承認 を議題といたします。前回会議録につ
いては、お手元の会議録の写しをご覧ください。この会議録の内容についてご異議ござい
ませんか。

(各委員「異議なし」)

(村上教育長) ご異議ないようですので、承認といたします。

◎ 議事 議第38号 酒田市小・中学校学区改編審議会委員の委嘱について

(村上教育長) 次に日程第4 議事に入ります。

議第38号 酒田市小・中学校学区改編審議会委員の委嘱について を議題といたしま

す。これについてご提案願います。

(学区改編推進主幹) それでは、議第38号 酒田市小・中学校学区改編審議会委員の委嘱についてご説明いたします。

委員15人の内、酒田飽海PTA連合会推薦の委員及び酒田市地区自治会推薦の委員を除く9人について、平成27年12月26日で委嘱の任期が終了することから、新たに委嘱しようとするものです。

別紙をご覧ください。酒田市小・中学校学区改編審議会条例第3条第2項第1号に規定する市議会議員からは、再任として、武田恵子議員、牧秀樹議員、新任として五十嵐英治議員の3人です。同じく、第3条第2項第3号に規定する識見を有するものとして、名簿の上から4番目、酒田市自治会連合会推薦の伊藤則義氏、以下、東北公益文科大学推薦の白旗希実子氏、酒田市子ども会育成連合会推薦の宮田浩一氏、八幡総合支所推薦の三川和夫氏、松山総合支所推薦の富樫春夫氏、平田総合支所推薦の澁谷元二氏、いずれも再任であります。以上の9人を委嘱しようとするものです。なお、委嘱期間は同条例第5条に基づき1年です。以上よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

(村上教育長) ただ今の提案に関しましてご質問、ご意見はございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。ないようですのでお諮りをいたします。

議第38号 酒田市小・中学校学区改編審議会委員の委嘱について を提案にとおり決めるにご異議ございませんか。

(各委員「異議なし」)

(村上教育長) ご異議なしと認めます。よって議第38号は提案のとおり決しました。

◎ 議事 議第39号 酒田市社会教育委員の委嘱について

(村上教育長) 次に、議第39号 酒田市社会教育委員の委嘱について を議題といたします。これについてご提案願います。

(社会教育課長) それでは、議第39号 酒田市社会教育委員の委嘱についてご説明いたします。

酒田市社会教育委員に次のものを委嘱するものとする。これは提案理由にもごさいますように、酒田市社会教育委員の内、市議会議員選出委員の改選に伴い、社会教育法第15条及び酒田市社会教育委員条例第3条の規定に基づき委嘱しようとするものです。新たに酒田市社会教育委員として委嘱しようとする方は、次の2名です。高橋千代夫氏、大壁洋平氏、いずれも酒田市議会の推薦で新任でございます。委嘱期間としては、平成27年12月25日から平成29年5月31日までです。以上よろしくご審査くださいますようお願いいたします。

願います。

(村上教育長) ただ今の提案に対しましてご質問ご意見ございませんでしょうか。

(村上教育長) ないようですので、お諮りをいたします。議第39号 酒田市社会教育委員の委嘱について を提案のとおり決するにご異議ございませんか。

(各委員「異議なし」)

(村上教育長) ご異議なしと認めます。よって議第39号は提案のとおり決しました。

◎ 教育長報告

(村上教育長) 次に日程第5 教育長の報告ですけれども、今回私からの報告はございませんので、次の日程第6 その他に入ります。

◎ その他

(村上教育長) 報告事項1 平成27年12月定例市議会における質問状況について教育部長より報告をお願いします。

(教育部長) 本日お配りをしました報告資料1をご覧ください。市議会平成27年12月定例会教育委員会関係質問状況の一枚開いていただきまして、1ページ目です。

今回の12月定例会では、議案に対する質疑となる代表質疑については、齋藤周議員1名でしたけれども、この中の4番のところで、議第111号から議第123号までの指定管理者の指定についてということで、議第123号が、眺海の森各施設に係る指定管理者の指定ということで、この中で眺海の森天体観測館が社会教育課主管として入っているために、担当課が社会教育課とありますけれども、この質問については観光の部分の主たるものということで、答弁等は全部観光の方で作成をして答弁をしているという状況です。

開いていただいて2ページ目になります。一般質問になりますが、今回一般質問は2人の方から出ておりまして、2ページの3番、後藤泉議員から「支えあうコミュニティづくりと地域振興について」の中で、社会教育力及び機能の低下についてということで質問がありました。

次の3ページの5番、齋藤直議員からは「平泉と酒田の歴史について」という中で、本市との交流の中で修学旅行のことが2問目に出ております。あとは大きなものとしては酒田市指定文化財について、こういった基準で選ばれているのか、市民からの情報をどのように活かしているのか、こういったものが質問としてありました。詳しい内容については、7ページ目が先ほどの代表質疑ということで、眺海の森観光施設について、指定管理が通

常5年ですが、3年としておった関係で質問が出ましたが、これは主たるものが、宿泊施設等の質問でしてそちらの方で回答しております。

9ページの方で後藤泉議員からは、合併した旧3町を主とした質問の形でしたが、社会教育力及び機能の低下ということで、青年組織や婦人会といった組織がコミュニティ化に伴い衰退しているのではないかと、どういった現状認識をしているか、社会教育とコミュニティの関係では地域の教育力向上事業があるが、これだけでは育たないのではないかとという質問がありました。答弁はここに書いておりますが、一番の要は3つ目の丸のところ、現在、市街地を含めてコミュニティ振興会や市民が主体となり、趣味的な講座やサークル活動以外にも地域の実情に則した地域おこしや地域ならではの活動が行われているということで、各特色ある事業を紹介した上で、それぞれコミュニティ振興会ごとで活動が活発に行われるように努めていきたいということで答弁をしているところです。また一番下の段のところ、これは前段の市長の答弁で、来年度からコミュニティ振興会の事務局体制が強化できるように事務的支援を、補助金なり交付金は増額をするというような答弁をしていることがありまして、それを受けた形で、今後の対応としては、来年度からコミュニティ事務局体制強化が図られるということで、社会教育面でも職員が地区担当制で訪問し、より充実した活動ができるようにきめ細かい連携を行っていくといったようなことで答弁をしています。2問目では公益文科大学との連携等についても質問もありましたけれども、それぞれ大学連携でリーダー養成ということでワークショップ、ディスカッション形式の事業なども取り入れていますという社会教育の講座の実態などを答弁をしているところです。

11ページになりますと、齋藤直議員から、2問目で松島に修学旅行に行っているの、平泉まで足を運んで、中尊寺などを見たり座禅体験などの交流はいかがでしょうかという質問がありまして、世界遺産でもある平泉中尊寺を見学するのは意義があるのではないのでしょうか。市内小学校の修学旅行は、26校中23校が仙台宮城方面で3校が平泉を訪問しているということをお答えした上で、教育委員会としては、修学旅行は教育課程の一環であり、小学校の修学旅行先を一律に定めることはできないが、旅行先の候補地としては平泉を検討されていますので、学校側も候補とするところもあるでしょうという答弁をしています。12ページの方では、酒田市の指定文化財をどういった基準で調査をしているか、あるいは市民からの情報はどのようにキャッチをしているのかということで質問がありまして、それぞれの文化財の指定までのあり方、あるいは市民からいただいた情報についての対応などに答弁をしているところです。2問目で保護審議会の開催などについて聞かれまして、これについても回答したところでございます。今回は教育委員会は少なくとも以上です。よろしく申し上げます。

(村上教育長) ただ今の報告にご質問ご意見ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは次に各課より報告事項がありますので報告してもらいます。学校教育課よりお願いいたします。

(学校教育課長) 報告事項2 第23回酒田市少年の翼交流事業について資料のとおり報告いたします。参加児童は32名、内訳は男子13名、女子19名。引率は7名。実施期間は12月13日から12月17日。主な日程としては、12月13日に庄内空港から羽田空港経由で那覇空港へ、その後バスで移動して沖縄県今帰仁村に到着。翌14日から15日にかけて、兼次小学校児童との交流、それから民泊。15日は、主な活動としては、サトウキビ収穫体験。16日が平和学習として、摩文仁の丘、ひめゆりの塔、山形の塔を訪問。そして17日首里城見学で酒田へという日程になっております。

兼次小学校との交歓会について、初めに、兼次小学校の子供たちから今帰仁村の紹介と各学年の発表が行われ、手づくりのプレゼントをいただきました。その後酒田の子供たちが酒田の紹介と、「S-jinku」を披露しました。最初は緊張と戸惑いの表情も見られましたが、エイサーの踊り方を教えてもらいながら交流したことで、緊張感も和らぎ、楽しむことができました。民泊後の朝は、バスが見えなくなるまでずっと雨の中見送りをしてくれ、感動的なお別れでした。民泊については、少年の翼団員32名が14家庭に2ないし3名ずつ民泊を体験しました。どの家庭も暖かく迎えてくださり、民泊を通して沖縄の自然や文化に触れることができました。今帰仁村の方々は、初めて会う人にもオープンに接してくださり、子供たちものびのびと交流、親睦を深めることができました。初めは不安な様子だった子供たちが、民泊後は非常に積極的になり、自分が体験したことをどンドン話すようになり、一気に団員同士も仲良くなりました。自然体験活動については、サトウキビの収穫体験と搾り、さらに黒糖作りまで体験したことによって、沖縄の自然について理解を深めることができました。また、指導者との心温まるふれあいを通して、団員たちも最後まで一生懸命活動することができました。お土産に収穫したサトウキビをいただき、家に帰ってから家族と話題を共有することができました。平和学習について、摩文仁の丘、ひめゆりの塔、ひめゆりの塔資料館、山形の塔を見学しましたが、バスガイドの説明の元、過去のつらく悲しい戦争の歴史を学ぶことができました。ひめゆりの塔資料館では、団員たちが一つ一つの展示を立ち止まってじっくりと読み深める姿が印象的でした。今の平和に感謝するとともに、二度と同じ過ちを繰り返してはならないことを学ぶことができました。

なお、1月16日に報告会を予定しております。これから委員の皆さまにもご案内を差し上げる予定です。どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして報告事項3 花王株式会社酒田工場からの寄付について資料のとおり報告いたします。花王株式会社酒田工場より酒田市の教育文化振興事業に役立ててほしいと、11月30日に1,228千円の寄付がありました。平成16年度より花王株式会社酒田工場主催により、「花王ファミリーコンサート in 酒田」を開催し、その収入全額を酒田市の教育文化振興のため、寄付をいただいている経緯があります。一昨年度も同様に寄付があり、市内の中学校の楽器購入に役立たせていただいております。今年度の寄附金は市内の中学校3校の楽器購入に充てさせていただきます。1月に各校代表生徒を含めた贈呈式を行う予定です。なお、平成16年度からの寄付の総額は9,277,300円となります。

続きまして、報告事項の4になります。犯罪抑止及び行方不明者捜索に係る「酒田市防災行政無線」の運用について資料のとおり報告いたします。取り組みの概要についてですが、酒田警察署より総務部危機管理課へ、市民への犯罪情報等の提供に係り防災行政無線放送活用の依頼があり、これについて、酒田市と酒田警察署の間で、「酒田市防災行政無線」の運用について覚書を締結するものです。伝達事項については、酒田警察署からの依頼を受け、危機管理課が次の内容について市民へ情報提供することになります。①不審者などの犯罪情報。連携する課はまちづくり推進課。②幼児、児童生徒に関する行方不明者情報。連携する課は子育て支援課及び教育委員会学校教育課。③要配慮者、高齢徘徊者などの行方不明者情報。連携する課は福祉課及び介護保険課。教育委員会学校教育課では特に伝達事項の②に関わり、緊急時に対応します。3 運用にあたっての配慮事項として、以下の2点を確認しています。1点目、個人情報に係る事案の場合の情報提供内容を決定するために、酒田警察署との事前の協議を行います。これは、危機管理課及び連携する課となります。2点目は運用後の問い合わせ対応、行方不明者確保後の対応に向け、関係者職員が待機します。以上です。どうぞよろしくお願いいたします。

(村上教育長) 報告事項の2、3、4と続いて報告いただきました。ただ今の報告にご質問やご意見はございませんか。

(浅井委員) 少年の翼交流事業についての質問ですが、1つ目としては、今回、浜中小学校の校長先生が団長さんだったとお聞きしたのですが、ふれあい少年の翼ということで、今度、受け入れ校が浜中小学校になると思いますが、浜中小学校からの児童の参加人数が何名いたか教えてほしいと思います。それからもう1点が、引率が7名と書いてあるわけですが、以前、小学校中学校の校長会からの要望等で、少年の翼に引率として出すことを学校としてはあまり好ましくないというようなことで、希望があったように記憶しておりますが、今回も何名かの教諭とか養護教諭の先生方がいらっしゃったかと思うのですが、学校との接触の中で何かうまくいかなかったことはなかったのか、スムーズにいったかどうかその2点をお聞きしたいと思います。

(学校教育課長) 1点目の浜中小学校児童の本事業の参加については、記憶なのですが、確か2名です。間違ったときは後で訂正させていただきたいと思います。それから引率の7名ですが、教育委員会の指導主事の中に2名入っておりまして、あと5名が、団長さんの校長先生含めて教諭3名、養護教諭1名をお願いしたところですが、これについて各学校の方からは、ご理解をいただきまして、支障をきたすというようなことは、今回もありませんでした。以上です。

(村上教育長) よろしいでしょうか。

(浅井委員) はい。

(村上教育長) 他にございませんでしょうか。

無いようでしたら報告を続けたいと思います。次に社会教育課長の方からお願いします。

(社会教育課長) では、報告事項5 酒田市合併10周年記念事業についてご報告いたします。

1つ目の郷土愛はぐくみ事業ですが、2つの事業がございました。①として、酒田がはぐくんだ詩人 吉野弘の世界ということで、3つの事業を行ったところです。(1) 講座「吉野弘を知る」として次の3回の講座を開催いたしました。受講者としては104名の方からおいでいただいたところです。(2) 朗読会の開催ですが、「吉野さんの詩を読む～風の記憶～」と題しまして、11月22日日曜日、公益ホールで開催いたしました。来場者数としましては219名でしたが、出演者が阿蘇孝子氏、琢成小学校及び泉小学校児童、東北公益文科大学の学生の他、合計で117名から出演していただいたところです。(3) 講演会の開催につきましては、「私たちに励ます吉野弘のことば」と題しまして、12月20日日曜日に公益ホールで開催したところです。第1部朗読及び講演につきましては、講師に山根基世元NHKアナウンス室長ですが、山根さんをお迎えしまして、3篇の詩を朗読していただいたところです。次に「こころの声を聴く力」と題しまして、講演をいただいたところです。第2部につきましては、山根基世さんがインタビュアーとなりまして、吉野弘さんの長女久保田奈々子さんと次女梅原万奈さんへのインタビュートークということで行ったところです。山根基世さんからは、心のこもった吉野作品の朗読と、「言葉」や「聴く」の重要性についてお話いただき、ご来場いただいた皆様より大変好評をいただきました。来場者総数としては550名というようなことで、立ち見も出るというような状況でした。

次のページをご覧ください。②といたしまして、郷土を愛する「もぎりあーと」創始者宮澤暁子氏の世界ということで、(1)としては、暁子の「もぎりあーと」展というのを総合文化センターで行ったところと、酒田光陵高校でも少しやりましたけれども、総合文化センターでは7月16日から7月21日、光陵高校では7月8日から7月14日まで行ったところです。その間、暁子の「もぎりあーと」楽しい体験教室ということで、光陵高校では7月17日、総合文化センターでは7月18日に行いました。参加者数としましては光陵高校では110名、文化センターでは42名の方が「もぎりあーと」を実際体験したところです。

次のページをお願いします。大きな2番目として、平田地域出身の彫刻家 石黒光二の彫刻展ということで、松山の文化伝承館で開催したところです。6月20日から8月30日までの期間で行いました。6月20日オープニングのときには、石黒先生からギャラリートークということで解説をお願いしたところです。期間中の来場者数につきましては、1,820名でございました。

報告事項6の平成28年酒田市成人式についてです。事業内容といたしましては、平成28年1月10日日曜日に、平成28年の成人式を開催いたします。式典としては、1時

30分から30分程度、それから実行委員会企画ということで、2時から開催いたします。その後写真撮影というようなことで、大まかな流れとしては、以上のような流れになっております。対象となる成人の方は、平成7年4月2日から平成8年4月1日生まれの方で、男性593人、女性593人、同数ですが合計1,186人です。内容としましては、先ほど申しましたが、実行委員企画で、「恩師からのビデオレター」を放映し、消防団による「はしご乗り」が披露されます。ここでも吉野弘の詩を朗読するというようなことで進んでいるようです。朗読については、実行委員他、東北公益文科大学の学生さん、先輩から読んでいただけるというようなことを聞いております。記念品としては、中学校ごとの成人式の記念集合写真をその場で撮ったものをプレゼントということと、それから酒田の文化施設の無料入館券をプレゼントするということと、それから恩師からのメッセージ、これは冊子形式で全員にプレゼントすることになっております。なお、実行委員としては、現在17人が携わっていただいているところでございます。以上でございます。

(村上教育長) ただ今の報告につきまして、ご質問やご意見ございませんでしょうか。

成人式は、吉野弘さんの詩の朗読というのが新しく入りました。他の地域で吉野弘さんの詩の朗読を入れた成人式があって、NHKで放送されて非常に話題になりまして、我が酒田市もということです。

よろしいでしょうか。続きまして図書館長をお願いします。

(図書館長) それでは私の方から、報告事項7 第1回ビジネスパーソン講座についてです。これにつきましては、目的が図書館の利用者が減少しておりまして、比較的若い世代の方にも図書館を利用していただくという趣旨で、開催したいということで、図書館は午後7時閉館ですが、7時から9時までの間を使って図書館の中でこういったことをしてみようということで開催しております。12月2日の7時15分から9時までということで、図書館の閲覧コーナーで開催しました。講師の先生は、東北公益文科大学の講師の斉藤徹史様。題名としては「忙しい人の図書館利用術」～ビジネスコンプライアンスを例に～ということをお願いしました。参加者数は男性13名、女性4名の合計17名。アンケートの結果ですけれども、図書館を月一回程度利用している方が1名、年数回程度が4名、ほとんどないが4名いるので、当初の目的といいますか、ある意味図書館に滅多に来ない人にも足を運んでもらおうというのは、ある程度の効果を得ることができたのかなと思っています。若干難しい内容ではありましたが、わかりやすかったとか、参考になった、図書館内でやるのがすごく新鮮に映ったといったような回答もございました。こういった形で講座を知ったのかというと、市の広報、市のホームページというのはほとんどなくて、チラシ、ポスター、友人知人の口コミというのが非常に多くありました。反省と今後の点につきましては、図書館を会場にしたことは非常に好評でしたので、続けていきたいと考えております。今年度2回開催予定で、実は、もう一回日程が決まっています、3月16日水曜日に実施する予定であります。講師の先生は、秋田県立図書館の図書館長の山崎博樹先生を呼んでやりたいと思っています。題名は、今のところ仮ですが、「現代社

会のメディアリテラシー」ということで情報発信者の意図を見抜けという若干難しい内容ではございますが、こういった内容の講座をもう一度開催したいと考えております。

続きまして報告事項の8、国際ソロプチミスト酒田からの寄付についてです。12月7日月曜日に、国際ソロプチミスト酒田の会長でいらっしゃいます林久子様より、児童図書購入資金に充ててほしいと10万円の寄付をいただきました。国際ソロプチミスト酒田につきましては、昭和56年4月に発足されまして昭和57年に今の場所に移動しておりますが、発足以降毎年ご寄付をいただいております。市長に直接手渡ししたということで、市のフェイスブックの方にも掲載しております。私の方からは以上になります。

(村上教育長) はい、2つ報告がございました。報告に関しましてご質問やご意見などはございませんでしょうか。

それでは事務局からの報告は以上ですけれども、委員の皆さまの方から話題にしたい内容はございませんでしょうか。

はい、それでは無いようですので、以上もちまして本日の日程は終了いたしましたので、閉会いたします。ありがとうございました。